



国際ロータリー第 2720 地区 2022 ~ 2023 年度

# 会長エレクト研修セミナー (オンライン)



**IMAGINE  
ROTARY**

期日：2022年3月12日(土)

場所：熊本城ホールより配信

## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。；
- 第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

## ロータリーの中核的価値観

- ・ 親睦
- ・ 高潔性
- ・ 多様性
- ・ 奉仕
- ・ リーダーシップ

## ロータリーのビジョン声明

TOGETHER WE SEE A WORLD  
WHERE **PEOPLE** UNITE AND TAKE ACTION  
TO **CREATE** LASTING  
**CHANGE** ACROSS THE GLOBE  
IN OUR COMMUNITIES AND IN OURSELVES

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

## ロータリーの戦略的優先事項と目的

- ・ より大きなインパクトをもたらす
- ・ 参加者の基盤を広げる
- ・ 参加者の積極的なかわりを促す
- ・ 適応力を高める

## DEI: 多様性、公平さ、インクルージョン(包摂)に関する声明

- ・ diversity
- ・ equity
- ・ inclusion

会長エレクト研修セミナー		司会	
		次年度地区幹事	作守 順子
12:30	入室開始		
13:00	開会(点鐘、国歌斉唱、Rソング斉唱省略)	ガバナーエレクト	堀川 貴史
13:01	ガバナー挨拶 ガバナーノミニ、ガバナーノミニーデジグネット紹介 ガバナーノミニー挨拶 ガバナーノミニーデジグネット挨拶	ガバナー ガバナー ガバナーノミニー ガバナーノミニー・デジグネット	大森 克磨 大森 克磨 膳所 和彦 三村 彰吾
13:15	ガバナーエレクト挨拶 RIテーマ・国際協議会報告並びに次年度地区方針・スローガン	ガバナーエレクト	堀川 貴史
13:45	講演 『会員をその気にさせるには・・・』	次年度研修リーダー	瀧 満
14:15	* 地区業務 ・予算について ・今後のスケジュール	次年度財務委員長 次年度地区幹事	星野 誠之 作守 順子
14:25	休憩 (12グループに分かれてグループディスカッション)		
14:40	* セッション4: アイディア交換: クラブを成功に導くリーダーシップ: 会長編 ・説明(2~3分) ①「ロータリーとは何か」と聞かれたら、どのように答えますか。 ②会員が参加したくなるような例会とするために、どのようなことができますか。 ③入会への関心を高めるために、何を行いますか。 ④ガバナー補佐およびガバナーとどのような形で協力しますか。		
15:40	(全体会に戻ります) * ガバナーエレクトより	ガバナーエレクト	堀川 貴史
15:45	閉会		

# 会長エレクト名簿

(※衛星クラブ=議長エレクト)

グループ	クラブ名	会 長 名	グループ	クラブ名	会 長 名
大分第一G	中津	細川 唯	熊本第二G	阿蘇	岩永 良成
	日田	石松 雅彰		肥後大津	岩崎 浩
	中津中央	古田 廣美		菊池	坂本 芳久
	日田中央	末竹 快健		肥後小国	平野 由利
	玖珠	菅 優一郎		熊本菊南	松本 積
	中津平成	宇都宮監浩		熊本'05福祉	寺田 俊二
大分第二G	豊後高田	奥田 淳二	熊本りんどう	西山 晃史	
	宇佐	川端 克弥	熊本	山田 哲大	
	杵築	衛藤 和彦	熊本東	藤田 傳次	
	くにさき	高橋とし子	熊本北	和田 明大	
	宇佐八幡	吉本 幸成	熊本東南	山田 公也	
	宇佐2001	後藤 義浩	熊本城東	井上 治朗	
大分第三G	別府	永松 直樹	熊本グリーン	田中 慎二	
	別府北	板井 覚	熊本平成	森野 修二	
	別府東	赤嶺 リサ	熊本水前寺公園	吉崎 健児	
	日出	宮崎 仁史	熊本南	北口 誠	
	別府中央	梶原 和朗	熊本江南	森 正貴	
	湯布院	田内 康男	熊本西南	金子 正一	
大分第四G	大分	杉原 正晴	熊本西	徳田 竜之介	
	大分東	菅 雅幸	熊本中央	穴井 祐志朗	
	大分臨海	南 徳行	熊本西稜	荒木 正人	
	大分南	古本 太	八代	鶴田 稔	
	大分中央	青柳 義信	八代北	深川 浩司	
	大分1985	高橋 道成	八代南	神菌敬八郎	
	大分城西	村上 智貴	宇土	岡崎 浩信	
	大分キャピタル	森永 隆二	八代東	平山 浩子	
	2720JapanO.K.RE	中川 宝星	宇城	前田 祐志	
大分第五G	竹田	工藤 厚憲	熊本第六G	人吉	青木 一幸
	佐伯	西嶋 泰義	水俣	澤村 昭仁	
	臼杵	岡松 幸男	多良木	中村 春喜	
	津久見	中津留伸亮	芦北	粟村 嘉夫	
	豊後大野	佐々木 勇	人吉中央	祝 憲生	
	佐伯MARINE	深井 永久	熊本第七G	天草	濱 雅秀
熊本第一G	山鹿	阿部 和良	牛深	福岡 得史	
	玉名	渡邊 太朗	西天草	登本 広道	
	荒尾	谷口 祐介	天草中央	山田 康人	
	玉名中央	茅畑 孝篤	天草パールライン	藤川 正恒	
杵築one heart衛星	溝部 雅彦	大分キャピタルoli oli衛星	林 秀一		



## ジェニファー E. ジョーンズ

2021-22 年度会長エレクト

Windsor-Roseland ロータリークラブ

カナダ、オンタリオ州

ウィンザーにある Media Street Productions Inc. の創業者兼社長。ウィンザー大学の理事長、ウィンザー・エセックス地域商工会議所の会頭を務めたほか、その奉仕活動が称えられ、YMCA Peace Medallion、Queen's

Diamond Jubilee Medal を受勲し、カナダ人初のウェイン州立大学 Pecemaker of the Year Award を受賞しました。また、法学の博士号 (LL.D.) を有しています。

女性初の会長に選出されるにあたり、ジョーンズ氏はロータリーの「多様性、公平さ、インクルージョン (DEI) に関する声明」の重要性を理解しています。「多様性、公平さ、インクルージョンを最優先し、女性会員や 40 歳未満の会員を増やすには、まずリーダー陣がこれを実践し、そのメンバー構成に反映させていく必要があります」とジョーンズ氏。「どちらの目標でも 2 桁の成長を目指し、決してロータリーファミリー全体を見失わないようにします」

ジョーンズ氏は 1997 年にロータリーに入会し、RI 副会長、理事、研修リーダー、委員会委員長、モデレーター、地区ガバナーを歴任しました。また、ロータリー強化諮問グループ委員長を務め、ロータリーのブランド活性化の取り組みでリーダー的役割を担いました。現在は、ポリオ根絶活動のために 1 億 5000 万ドルのファンドレイジングを目指す、「End Polio Now : 歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会」の共同委員長を務めています。2020 年には、新型コロナウイルス対応のためのファンドレイジングを目的としたテレソン (#ロータリーによる対応) を先導。このイベントは 65,000 人以上が視聴しました。

ジョーンズ氏は超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞しているほか、夫のニック・クラヤシッチさんと共に、アーチ・クランフ・ソサエティ、ポール・ハリス・ソサエティ、ロータリー財団遺贈友の会の会員となっています。



## 2022 - 23 年度テーマ講演

ジェニファー・ジョーンズ RI 会長エレクト 2022 年 1 月 20 日

8 月 14 日、私はニックとともに、国際ロータリー世界本部と今後 2 年間の私たちの新居があるイリノイ州エバンストンに向かいました。

告白しますが、やっと会長エレクト室に座れることが嬉しくて仕方ありませんでした。長年、私が尊敬のまなざしを向けてきたこの空間で仕事ができるのですから。自宅のダイニングテーブル以外の場所で仕事ができるのも嬉しいことでした。

最初の週、あるロータリアンから朝に個人的なメッセージが届きました。そこにはこう書かれていました。「私のことを覚えておられるでしょうか。ハンブルグでお会いした者です。私のクラブでお話しいただきました」無理を承知でお願いしたいことがある、とその方は続けました。そのクラブと関係のある奨学生で平和活動家である若い女性が、アフガニスタンのカブールにおり、今、危険にさらされている。自分にできることはないか。国外避難できるよう飛行機に乗せてあげることはできないか。スマートフォンは没収され、彼女はプライベートなネットワークを使って電話の発信源がわからないようにしている、というのです。

何千もの人がカブール空港を飛び立つ飛行機に必死に押し寄せる姿は、記憶に新しいと思います。

快適な新しいオフィスの大きなデスクに向かって座っていた私は、急に自分がちっぽけに感じました。自分は何者なのか？ 一体自分に何ができるだろうか？

数年前、次期国際ロータリー理事であるパット・メリーウェザーさんから、一人の平和フェローを紹介されました。そのフェローは、このような状況下で影響力を発揮できそうな立場にいました。今度は私が、無理を承知でお願いする番です。

日本語 (JA)

ジェニファー・ジョーンズ 2022-23 年度テーマ講演 2

その人に連絡してみたところ、私たちの誰もがよく知る「ロータリーの不思議な力」(Rotary magic) が働きました。この話のヒーローは、このロータリー平和フェローです。実際に何がどうなったのかわかりませんが、24 時間も経たないうちに、この若い女性は避難者リストに加えられました。その二日後、彼女は無事にヨーロッパに向かっていているということを知りました。

飛行機が飛び立ったときの彼女の気持ちを想像してみてください。

これこそ、ロータリーの力です。強力な人脈ができることで、世界がつながり、それぞれの人のストーリーが結びつきます。互いの違いはなくなり、インパクトをもたらすうえでの唯一の限界は、想像力の欠如です。

2014 年 11 月 9 日のことです。ニックと私は、ベルリンのホテルの屋上で、100 万人がいる街を見下ろしていました。その日は、ベルリンの壁崩壊、つまり冷戦の終結から 25 周年を街中が祝っていました。

その日の日中、ホルガー (クナーク) 元会長が主催した行事で、私はタチアナ・ジュリーという女性と出会いました。その 25 年前、彼女は東ベルリンの若きラジオレポーターでした。

彼女はこう話しました。「何が起きているのかわかりませんでした。局長はノイローゼ状態で、私はどうしていいのかわかりませんでした」

そこで彼女は、テープレコーダーを手に外へ出ました。なぜなら、彼女いわく、「歴史をつかみ取れば、実際につかまなければならない」からです。

そこで彼女が見たのは、東側と西側を行きかう何千もの人たちでした。人びとは壁を崩そうとしていました。ニュースルームに戻った彼女は、記事を書きあげました。

タチアナさんからこの話を聞きながら、つながりが再びその不思議な力を発揮しました。

それと同じ日、新米レポーターだった私は、カナダのウィンザーにあるニュースルームに一人でいました。そのとき、世界で何か重大なことが起きたことを知らせるアラームが鳴り響きました。古いニュースワイヤーの機械のところに走っていき、ベルリンの壁崩壊のニュースを読みました。冷戦が終わろうとしていたのです。

ジェニファー・ジョーンズ 2022-23 年度テーマ講演 3

タチアナさんと同じように、私もどうしてよいかわかりませんでした。しかし、それが歴史的な出来事であることはわかりました。「歴史をつかみ取れば、実際につかまなければならない」。私はニュースブースに行き、その素晴らしいニュースを伝えました。

想像してください、4000 マイル以上離れた私たち二人が、世界を変えるほどの経験を共有していたのです。

その 25 年後に出会ったタチアナさんと私は、ともに涙を流しました。あの時に私が読んだニュースがタチアナさんのものだったかわかりませんが、そうであったと信じます。

このような共通の経験をもって初めて、理解を通じて世界平和をつくり出すことができます。その世界は、私たちが公平さ、人権、地域社会のリソースの公平な配分に力を尽くしてこそ実現できるのです。私たちがよく知る言葉でいえば、「みんなに公平か」です。

ロータリーに多様性、公平さ、インクルージョンを取り入れる努力において、インクルージョンのカギとなるのは、障壁を取り除くことです。そしてインクルージョンこそが、会員増強のカギとなります。

これは新しい取り組みのように聞こえるかもしれませんが、新しい考え方ではありません。1933 年の第 24 回国際大会での、ロータリー創設者ポール・ハリスの肉声をお聞きください：

ロータリーは、あらゆる職業や地位、あらゆる国、あらゆる形式の宗教の人たちに開かれています。(中略) ロータリーの才知と栄光は、まさにここにあります。(中略) ロータリアンは多くの点で異なる者同士ですが、二つの点で完璧に調和しています」

私たちはみな、完璧に調和しています

数年前、私はアメリカのテレビ番組でインタビューを受けました。収録の直前、司会者が驚くようなことを言いました：30 年来のロータリアンであった彼は、最近になってやっと「ロータリーが理解できた」と言うのです。

ジェニファー・ジョーンズ 2022-23 年度テーマ講演 4

彼は、地元地域で子どもたちにコートを届けるプロジェクトに参加しました。その時に初めて、すべてが腑に落ちました。奉仕の力を目のあたりにした彼は、本当の意味で参加するようになり、クラブ会長も務めました。

想像してください。彼は、「ロータリーを理解する」までに 1,500 回以上の例会に出席したのです。このことから何を学ぶことができるでしょうか。

会員の参加を促さなければならない、ということです。

私が住むウィンザー市は、カナダの自動車産業の中心地です。私は、自動車修理工場についてもよく知っていますし、市場の競争が激しい環境で育ちました。そこでは、うまく行っていないことがあれば、設備を新しくしました。新しい部品やモデル改良の準備のために、数カ月間、工場を操業停止することもありました。

ここ数十年は、競争的な市場のために工場が閉鎖されるなど、厳しい時でした。数万人が職を失いました。

このような状況になったら何ができるでしょうか。適応することです。時間がかかりましたが、私たちの地域は今、農業関連産業と、医療や宇宙航空技術の分野で世界的にリードしています。

私たちも適応し、改革しなければなりません。各会員の参加を促すための適切な”部品”を見つけることを、私たちの中心的な役割とすべきです。詰まるところ、大切なのは会員にとっての心地よさと配慮です。

数年前、友人のブロンウィン・スティーブンスさんが、メルボルンにある学校に私を連れて行ってくれました。



私はそこで、ピーターという若いインターアクターに出会いました。彼はこう言いました。「責任ある子どもが必要なら、責任を与えるべきです」

ピーター君は重要な点を見抜いていました。ロータリーへの入会者を見つけることは、問題なくできています。苦労しているのは、会員の維持です。世界の全地域で、回転ドア式（つまり、入っては出るの繰り返し）になっています。

会員がロータリーでどんな経験を求めているかを聞き、果たしがいのある責任を会員に与える必要があります。ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出します。これが私たちの責任です。会員に奉仕できなけ

ジェニファー・ジョーンズ 2022-23 年度テーマ講演 5

れば、地域社会への奉仕もできません。会員にとって心地よい場所とし、会員への気配りがなければ、ロータリーの力を本当の意味で理解してもらうことはできないでしょう。

私が言う「会員」とは、ロータリーとローターアクトを意味しています。私たちはみな、ロータリー会員です。私たちは、この素晴らしい組織のリーダーとしての役割を委ねられました。私たちは今、果敢に、目的意識をもって行動し、リーダーシップを発揮できるかどうかが問われています。

7月1日から、一人のローターアクターをロータリー公共イメージコーディネーターに任命したことを皆さまにお知らせします。また、いくつかの委員会にローターアクターを正式に含め、次年度には数名のローターアクターを会長代理にも任命する予定です。

シェカール（メータ）会長は昨年、「女児のエンパワメント」のイニシアチブを立ち上げ、それが世界中で受け入れられてきました。エンパワメントされた女児はエンパワメントされる女性になる、ということを認識して、私たちはこの果敢な取り組みを続けていきます。

ロータリーでの女性の割合を30%にするという、理事会が定めた目標の達成期日まで、あと1年半を切りました。ここまで進展が見られ、110カ国以上で既にこの目標が達成されています。とはいえ、まだまだ先は長いのです。30%は50%への足がかりにすぎません。ご存知の通り、ローターアクトはこれを既に達成しています。

異なるユニークな新クラブ、特に新しいクラブモデルを受け入れることは、ロータリーの成長に不可欠です。私は、皆さまのお力添えを必要としています。ガバナー年度には、皆さま一人ひとりに、革新的クラブまたは活動分野に基づくクラブを少なくとも二つ設立するために助力していただきたいのです。

そして、おそらく最も大切なのは、心地よさと配慮の哲学を、これらの新クラブに、また既存のクラブにも浸透させることです。クラブとロータリーでの体験に満足してもらえるように、会員が積極的に参加できるようにしましょう。

ロータリーの改革に内側から取り組む一方で、ロータリーの存在感を増すことにも特別な重点を置き、ロータリーがもたらしたインパクトを称えるために私が世界各地を訪問します。

ジェニファー・ジョーンズ 2022-23 年度テーマ講演 6

ソートリーダー（思想的リーダー）や世界のリーダーとの対話を積極的に行い、世界の最も差し迫った課題に取り組む方法について話し合います。

ロータリーは、こうした機会をつくり、つながりを生かして協力関係を深め、新たなパートナーシップを構築していく必要があります。ロータリーでは、それをあらゆるレベルで行うことができます。

私たちは、ロータリーの奉仕と価値観が自分たちにもたらす影響を感じています。今こそ、この感覚を人びとと共有する時です。

韓国でのロータリー会合に出席したときのことで、韓国語はわかりませんでしたが、そこにいた全員が一斉に



同じ言葉を唱え始めました。それは素晴らしい瞬間でした。その歯切れのよいリズムから、私はそれが「四つのテスト」だとすぐにわかりました。

自分が慣れ親しんでいることに触れたその瞬間、私はある種の心地よさを感じました。私たちの中核的価値観、伝統、遺産は、私たちが信じ、大切にしている力強いものです。また、今まで以上の存在になるために何かできるかを想像しながら、さらに築き上げていくものでもあります。

50年前、次のような美しい歌詞を含む曲がレコーディングされました：

君は僕を夢想家だというかもしれない

でも僕一人ではないさ

この歌詞は、行動への呼びかけだと私はとらえます。私たちには皆、夢があります。しかし、そのために行動するかどうかを決めるのは私たちです。ロータリーのような団体がポリオの根絶や平和の実現といった大きな夢を抱くなら、それを実現させる責任は自分たちにあります。

想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。昨日のことをイマジン（想像）する人はいません。それは未来を描くことです。

ポリオのない世界を想像してください。

みんなが安全な水を使える世界を想像してください。

疾病のない世界、すべての子どもが読むことのできる世界を想像してください。

ジェニファー・ジョーンズ 2022-23 年度テーマ講演 7

やさしさ、希望、愛、平和を想像してください。

だからこそ、「イマジン ロータリー」がテーマとなります。

Imagina Rotary.

Imaginons le Rotary.

Immagina il Rotary.

イマジン・ロータリー

**상상하라로타리**

Imagine O Rotary.

想像扶輪

これがすべての言語で重要な意味をもつことを願っています。

ブロードウェイミュージカルの『レント』(Rent) という作品の歌に、素敵な一節があります：

52万5600分 人生の中で1年をどうやって測ればよいだろう

この作品を知っている方もいるかもしれません。または、この作品にインスピレーションを与えたブッチーニの『ラ・ボエーム』を知っている方もいるでしょう。

現ガバナーのミシェル・ボリアーさんは最近、私たち一人ひとりが同じ時間を与えられていることについて考えるよう呼びかけました。大切なのは、その時間をどう生きることを選択するか、ということです。

7月1日に、時計が動きだします。皆さんは、この時間をどう使いますか。



## ガバナー挨拶

国際ロータリー第 2720 地区  
ガバナー 大森 克磨

国際ロータリー第2720地区の会長エレクトの皆様、こんにちは。  
2月19日の地区チーム研修セミナーに続き、いよいよ本日は会長エ

レクト研修セミナー（P E T S）です。

今年度も、新型コロナウイルスに阻まれ、オンラインでの開催となってしまいました。

懇親会もなく、大変残念ですが、環境には適応するしかありません。皆さん、適応力を高めましょう。

さて、ジェニファー・ジョーンズ（J e n n i f e r J o n e s）R I 会長エレクトは、次年度のR I 会長のテーマを「**IMAGINE ROTARY**」とされました。

また、堀川ガバナーエレクトは地区スローガンを、

### 「ロータリーはつながりで溢れている ～友情いっぱい仲間となにかよいことをしましょう～」

と発表されました。

これらについての説明は、堀川ガバナーエレクトに譲りますが、堀川ガバナーエレクトは就任年度にまだ57歳と、同期34名の中でも3番目という大変若いガバナーになられます。

それだけでもワクワクし、大変楽しみです。

また、硯川昭一バストガバナー（副ガバナー）、私、堀川ガバナーエレクト、膳所ガバナーノミニ、三村ガバナーノミニ、デジグネートは、月に1回2時間ほど、S G E N D M と称するミーティングを開催し、「つながり」を絶やさぬよう、コミュニケーションを絶やさぬようにしています。

その中で私は、堀川ガバナーエレクトのことを深く知るわけですが、ロータリーについて深い見識をお持ちであるばかりでなく、発想が大変柔軟且つ創造的であると感じます。そして、常にD E I を意識されております。

次年度は、地区に一体どんな素晴らしい変化をもたらして下さるのでしょうか、未来への想像は膨らむ一方です。

最後に、R I 会長及びガバナーの方針が、1年間の地区、グループ、クラブ、そして1人1人のロータリアンの活動の指針となります。

本日のセミナーが充実したものとなることを、そして、堀川ガバナー年度が実り多い最高に楽しい年度となることを心より祈念致しております。



## ガバナーエレクト挨拶

国際ロータリー第 2720 地区  
ガバナーエレクト 堀川 貴史

### ようこそ会長エレクト研修セミナー (PETS) へ

2022-2023 年度、国際ロータリー第 2720 地区、会長エレクトの皆様、本日は会長エレクト研修セミナーへご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

本来であれば、1泊2日の研修を受講していただき、会長就任への準備とお互いの懇親も深める機会と考えておりましたが、コロナ感染拡大につき、昨年に引き続き、オンライン開催となりました。「元気あるクラブづくりをサポートする」ことを目的とした、研修委員会を中心に、この会長エレクト研修セミナー (PETS) ~地区研修協議会と企画・運営をしております。たくさんのアイデア、意見、サポートを賜りました、研修委員会の皆様に心より感謝申し上げます。

クラブのチカラ (魅力) は、クラブ会長、副会長、幹事、委員長から始まり、クラブ会員が積極的にかかわってくることによって大きく変わってまいります。私は、ガバナー補佐、部門長の皆様方としっかりコミュニケーションをとることを最重要と考えて準備してまいりました。また会長エレクトの皆様とは、一部で、会長エレクト懇談会等で直接お話しする機会をいただいた方も数多くいらっしゃいました。同様に、会長エレクトの皆様方には、クラブ会員の皆様と、これからコミュニケーションをしっかりとっていただきますようお願いいたします。

『入りて学び、出でて奉仕せよ』という言葉をご存じだと思います。例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、友情を深め、自己改善を計り、結果、奉仕の心が育まれてくる、この例会における一連の活動のことを「親睦」と呼び、例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践していくことこそが、理想とされるロータリーライフです、と伝えられております。

会長エレクトの皆様方には、例会をはじめとするクラブの事業を通じて、クラブの会員の皆様方が、参加の中心となるような、そんな温かい雰囲気、ぜひ演出していただきたいと思います。クラブ内を友情いっぱいにする事で、必ず外に向かう活動も活発になり、それがクラブのチカラ (魅力) となっていきます。

私自身は、せっかくクラブ会長をお引き受けいただいた皆様方に、これ以上ないような、経験と出会いと喜びの機会を与えられますように、精一杯努めてまいります。皆様方も私と一緒にワクワク感を楽しんでいただけたら幸いです。

最後に、本日のセミナー開催にあたり、ご指導いただきました、大森ガバナー、瀧研修リーダーをはじめ、作守次期地区幹事、研修委員会、副幹事の皆様方に、心より感謝申し上げます。



## 地区研修リーダー挨拶

国際ロータリー第 2720 地区

2022 年～ 23 年度 地区研修リーダー 瀧 満

### 『感動がこだまするクラブ運営への誘い(いざな)』

いよいよ、会長年度がスタートする時期になりました。新型コロナウイルス・オミクロン株の凄まじい感染力で今年も、オンラインでの PETS となりましたが、皆様方が会長年度に素晴らしい成果を上げることが心より祈念致します。

今日の PETS 開催に当たり、皆様方にぜひ読んで頂きたい 2 冊の本を紹介いたします。

①『ロータリーの心と原点』 RID2700 パストガバナー

廣畑富雄氏著

発売元：株式会社ドミックスコーポレーション

②『ロータリークラブに入ろう』 RID2840 パストガバナー

田中久夫氏著

発売元：幻冬舎

①はロータリーの極めて基本的な考え方を述べておられます。私は会長になるまでは、ロータリーの基本を学ぼうとする気持ちはあまりなかったのですが、この本と出会い人生が変わりました。

②は田中氏ご自身の実際の経験を題材にしており、ロータリーという組織がどういうものなのかを易しく綴っております。特に会員拡大についてのくだりは非常に興味深い内容になっております。

せっかく会長をお受けになったわけですから、一年間どっぷりロータリーに浸かって見てはいかがでしょうか。会長の熱量がそのままクラブの熱量に反映されてくると思います。それぞれのクラブの課題や目標は既に明確だと思えます。堀川ガバナーエレクトの基本方針が示すように、親睦で培った仲間と、何か良いことをすることで、道が開けてきます。

皆様方のご健闘をお祈りいたします。地区研修委員会は、そのお手伝いをさせて頂く組織です。大いにご利用いただければ幸いです。

## 国際ロータリー第 2720 地区 ガバナーエレクト紹介



### 堀川 貴史 (ほりかわ たかし)

所属クラブ 熊本南ロータリークラブ  
 生年月日 1964 年 (昭和 39 年) 9 月 3 日  
 現住所 熊本市南区江越 1-29-25-802  
 最終学歴 西南学院大学商学部卒業  
 職業分類 建築資材配布  
 勤務先 株式会社 堀川 代表取締役

#### 【ロータリー歴】

2000 年 4 月 3 日 熊本南ロータリークラブ入会  
 2006-2007 年度 地区ローターアクト・ライラ委員長  
 2007-2008 年度 地区ローターアクト・ライラ委員長  
 2008-2009 年度 地区ローターアクト・ライラ委員長  
 2009-2010 年度 地区ローターアクト・ライラ委員長  
 2011-2012 年度 クラブ会長  
 2012-2013 年度 地区新世代奉仕部門長  
 2013-2014 年度 地区青少年奉仕部門長  
 2019-2020 年度 地区管理運営部門長  
 2020-2021 年度 地区管理運営部門長

#### 【その他】

公益財団法人 寿崎育英財団 熊本 評議員  
 堀川ト一ヨ一住器株式会社 代表取締役

## 国際ロータリー第 2720 地区 ガバナーノミニー紹介



### 膳所和彦（ぜぜかずひこ）

所属クラブ 日田ロータリークラブ  
職業分類 心臓外科医  
生年月日 1952年（昭和27年）3月31日  
最終学歴 九州大学医学部大学院  
勤務先 医療法人恒心会 膳所医院  
勤務先役職 理事長

#### 【公 職】

大分県日田市医師会会長（3期目）  
大分県医師会代議員

#### 【ロータリー関係】

1999年9月 日田ロータリークラブ入会  
2018-2019年 日田ロータリークラブ会長  
2019-2021年 地区危機管理委員会委員  
2020-2022年 地区インターアクト委員会委員長



## 国際ロータリー第 2720 地区 ガバナーノミニー・デジグネート紹介



### 三村 彰吾 (みむらしょうご)

所属クラブ 熊本りんどうロータリークラブ

職業分類 歯科医

生年月日 1968 年（昭和 43 年）11 月 7 日

最終学歴 長崎大学歯学部大学院

勤務先 医療法人共愛会 共愛歯科医院

勤務先役職 理事長

#### 【公 職】

日本臨床歯科学会熊本支部長

日本口腔インプラント学会代議員

益城町立益城中学校 PTA 会長

#### 【ロータリー関係】

2011 年 11 月 熊本りんどうロータリークラブ入会

2014-2015 年 熊本りんどうロータリークラブ会長

2016-2019 年 地区公共イメージ部門部門長

2019-2022 年 地区研修委員



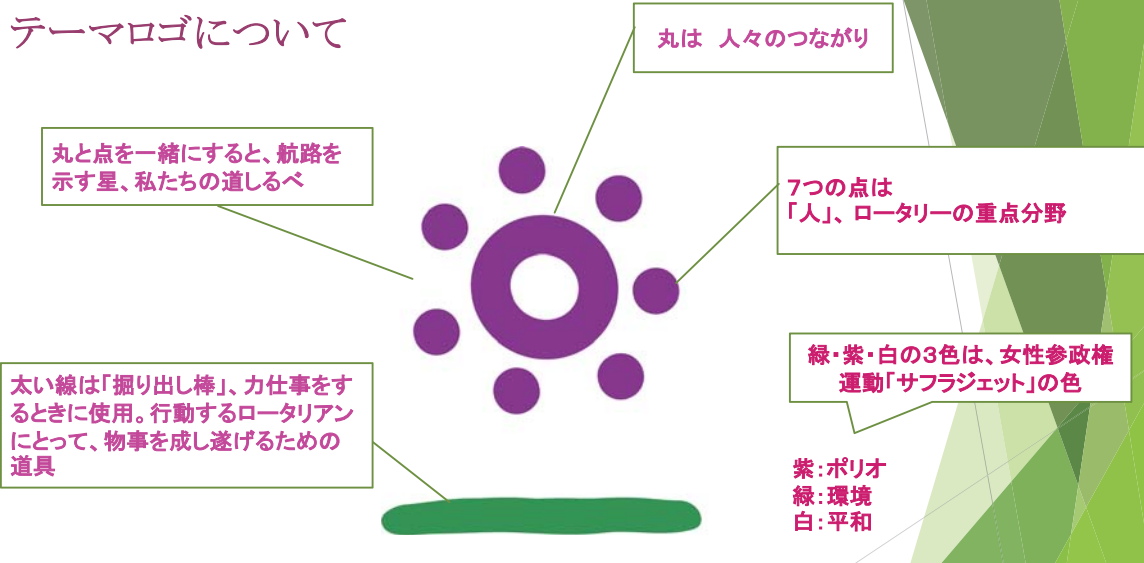
## RIテーマ・国際協議会報告・次年度地区方針

国際ロータリー第2720地区 2022-2023年度会長エレクト研修セミナー  
令和4年3月12日(土)熊本城ホール  
ガバナーエレクト 堀川貴史

### ①2022-2023年度 RI会長テーマ



テーマロゴについて



丸は 人々のつながり

丸と点を一緒にすると、航路を示す星、私たちの道しるべ

7つの点は「人」、ロータリーの重点分野

太い線は「掘り出し棒」、力仕事をするとき使用。行動するロータリアンにとって、物事を成し遂げるための道具

緑・紫・白の3色は、女性参政権運動「サフラジェット」の色

紫:ポリオ  
緑:環境  
白:平和

紫、緑、白の3色・・・DEIを強調、自分自身を自由に表現しながら、つながりを持てるように  
※公式行事では、ジャケットをそろえるのではなく、これらの3色(1色でも可)の色の服を着るよう要請

ロータリーがインパクトをもたらしている  
世界各地の活動を訪問

**より大きな  
インパクトをもたらす**

つながりを生かして協力関係を深め、  
新たなパートナーシップを構築していく必要がある

**参加者の  
基盤を広げる**

「私たちには皆、夢があります。  
そのために行動するかどうかを決めるのは私たちです」  
「それを実現させる責任は自分たちにある」

**参加者の積極的  
なかかわりを促す**

会員に奉仕する考え方、参加を促す、心地よさと配慮

**適応力を高める**

変化を受け入れることは、新しいクラブのモデル  
を受け入れること

2022-2023年度 RI会長テーマ



**「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。  
私たちは毎朝目覚めるとき、  
その世界に変化をもたらせると知っています。」**

**RI会長エレクト**

**ジェニファー・ジョーンズ氏の具体的指示**

- \* 2023年度までにロータリー会員基盤の30%を女性にする
- \* 革新的なクラブまたは活動分野に基づくクラブを少なくとも2つ設立する

### ③地区スローガンについて

## 『ロータリーはつながりで溢れている』

～友情いっぱいの仲間となにかよいことをしましょう～

## 『ロータリーはつながりで溢れている』

### 奉仕の理想

【信頼できる仲間とよいことをする】

あらゆる場面に適用

『豊かな人生』『事業の繁栄』『世界の平和』

ロータリークラブは信頼できる仲間の集まり(会員同士の友情が基本)  
(奉仕の理想に集いし友)

## 『入りて学び、出でて奉仕せよ』

例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として**奉仕の心**が育まれてきます。

この例会における一連の活動のことを**[親睦]**と呼ぶのです。

例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。

これが理想とされるロータリーライフです。

「ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出します」

(2022年1月20日 RI会長エレクト:ジェニファー・ジョーンズ)

## ロータリーの目的(旧「ロータリーの綱領」)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。



## ④地区方針

### ロータリーはつながりで溢れている

「友情いっぱい仲間となにかよいことをしましょう」



#### 【地区方針】

##### ◆地区戦略計画の継続と具現化

#### 【その他重点項目】

- ・2720地区のやる気スイッチON
- ・新入会員の退会防止
- ・各クラブの例会サポート(出前セミナー)
- ・メディア対応のワンストップ化(公共イメージ)
- ・Zoomミーティング窓口(部門、各グループ)の開設
- ・休日は家庭生活に奉仕の理想を最大限適用



### 国際ロータリー第2720地区戦略計画 (2021年7月～2024年6月)

#### 地区ビジョン 若者と親しみ、ロータリーを繋ごう

地区ビジョンでロータリーの行動計画を実行しよう

	2022-2023	2023-2024	2024～
<b>①若者の中から世界で活躍できる、偉大なロータリアン(ローターアクターを含む)を育てよう</b> (より大きなインパクトをもたらす)	・財団補助金を使う奉仕事業にRAC、IACを参加推進 ・RAC補助金管理セミナー参加	・財団補助金の使用ルールを見直し、RACも財団補助金を使用可能に	・RACによる補助金活用奉仕事業
<b>②若者にロータリーの種を蒔こう</b> (参加者の基盤を広げる)	・ロータリーとは? 伝え方、表現力強化。 ・メディア活用の窓口のワンストップ化 ・世界ポリオデー	・ロータリー以外の方々に参加できる奉仕活動を促進 ・世界ポリオデー	・奉仕活動への参加者のさらなる多様化 ・世界ポリオデー
<b>③若者にロータリーを親しんで貰おう</b> (参加者の積極的な関りを促す)	・学友会、名簿整理、総会開催、RYLA ・RC・RAC・IAC合同奉仕事業(世界ポリオデー) ・提唱RCとRACの職業・社会・国際奉仕委員会での連携促進	・RYLA参加者の多様性をはかる ・RC・RAC・IAC・学友会合同奉仕事業(世界ポリオデー) ・地区委員へのRAC構成比を高める	・多様な会員から構成される新クラブ、衛星クラブ、RACの誕生
<b>④柔軟なローターアクター、ロータリアンを育てよう</b> (適応力を高める)	・2022年規定審議会報告 ・クラブ定款と細則を変更促進 ・クラブ運営の柔軟性を検討(若者対象)のうえ、クラブ戦略計画立案推進 ・地区組織見直し検討	・地区組織の再編 ・RACの位置づけ検討 ・クラブ運営の多様化推進	・RC、RAC地区運営の融合 ・クラブの構成員の多様化

地区クラブ活性化ワークショップ・RLI

### 【その他重点項目】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・2720 地区のやる気スイッチ ON</li> <li>* 地区クラブ活性化ワークショップ(7/23(土)大分)</li> <li>* RLI ①2022/10/8(土)～9(日)熊本 ②2023/2/25(日)大分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入会員の退会防止</li> <li>* 「ロータリーを学ぶオリエンテーション」開催(3～4回/年) (対象:RC 新入会員、RAC 会員)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブの例会サポート</li> <li>* 出前セミナー(卓話)推進(全部門)</li> <li>* 公式訪問(12か月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア対応のワンストップ化</li> <li>* 奉仕活動の取材依頼を公共イメージ部門でお引き受け</li> <li>* ロータリーって何?(PETS セッション)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Zoom ミーティング窓口の1本化</li> <li>* 研修委員会でホスト役を行います。 (部門会議、委員会、グループ会長幹事会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日は家庭生活に奉仕の理想を最大限適用</li> <li>* 部門セミナーは休止</li> <li>* 休日は家族と一緒に過ごしましょう</li> </ul>

### 地区研修・協議会

2022年4月3日(日)全体会オンライン

部門別協議会は別日開催(興味のある部門に複数参加可能といたしました)

### 地区大会

2023年4月14日(金)	RI 会長代理歓迎晩餐会	ホテル日航熊本
2023年4月15日(土)	本会議・希望懇親会	人吉市内
2023年4月16日(日)	ゴルフコンペ・エクスカーション	人吉市近郊

### 公式訪問予定

2022.7	8	9	10	11	12	2023.1	2	3	4	5	6
熊本	熊本	熊本	大分	大分	大分	大分	大分	熊本	熊本	熊本	熊本
⑥	④	⑦	②	⑤	③	①	④	③	②	①	⑤

### 地区研修・協議会スケジュール(訂正版)

部門	日時		曜	時間	開催場所・開催方法	備考
全体会	2022年	4月 3日	(日)	10:00~12:00	オンライン (Zoom)	
幹事部会	2022年	4月 3日	(日)	13:30~15:30	熊本パレア・ハイブリッド	パレア会議室1 (9:00-使用可能)
管理運営	2022年	4月 2日	(土)	13:00~15:00	オンライン (Zoom)	
公共イメージ	2022年	4月 23日	(土)	13:00~14:45	オンライン (Zoom)	
会員増強拡大	2022年	4月 17日	(日)	10:00~12:00	オンライン (Zoom)	
職業奉仕	2022年	3月 26日	(土)	15:00~16:30	オンライン (Zoom)	
社会奉仕	2022年	4月 23日	(土)	15:00~16:30	オンライン (Zoom)	
国際奉仕	2022年	4月 10日	(日)	13:30~15:30	オンライン (Zoom)	
青少年奉仕	2022年	3月 21日	(月・祝)	10:00~12:00	熊本パレア・ハイブリッド	
ロータリー財団	2022年	4月 24日	(日)	13:00~15:00	オンライン (Zoom)	
米山記念奨学会 (大分)	2022年	4月 23日	(土)	9:00~12:00	ホルトホール大分・ハイブリッド	世話クラブ説明会含む
米山記念奨学会 (熊本)	2022年	4月 24日	(日)	9:00~12:00	熊本パレア・ハイブリッド	世話クラブ説明会含む

### New Topic

オンラインのPETSではものたりない  
会長エレクトの皆様方へ

**\* 出前PETS(会長エレクト研修セミナー)**

《背景》 会長ノミニー研修中止、PETSオンライン開催

## ガバナー補佐紹介(2022～2023年度)

大分第一グループ



ヨシミツ ユキオ  
吉光 幸夫  
玖珠RC

大分第二グループ



フジモト ヒロカズ  
藤本 博和  
宇佐RC

大分第三グループ



オガタ ハジメ  
緒方 肇  
別府RC

大分第四グループ



フジタ チカヨシ  
藤田 千克由  
大分中央RC

大分第五グループ



キナシ マサタカ  
木梨 雅孝  
臼杵RC

熊本第一グループ



ツルタ ミチアキ  
鶴田 倫明  
玉名RC

熊本第二グループ



ナベシマ コウゾウ  
鍋島 功蔵  
肥後大津RC

熊本第三グループ



エノキ チカラ  
榎 主税  
熊本東RC

熊本第四グループ



ゴトウ ヒロシ  
後藤 博  
熊本南RC

熊本第五グループ



タテishi シュウジ  
立石 修治  
八代東RC

熊本第六グループ



ノベオカ ケンイチ  
延岡 研一  
人吉RC

熊本第七グループ



サカニishi チカラ  
坂西 力  
西天草RC

## 地区役員紹介(2022～2023年度)

地区幹事



サクモリ ジュンコ  
作守 順子  
宇土RC

財務委員長



ホシノ セイジ  
星野 誠之  
熊本南RC

管理運営部門長



ホンショウ ノブコ  
本庄 伸子  
宇佐RC

公共イメージ部門長



ハザマ ヒデキ  
波佐間 英樹  
熊本中央RC

会員増強拡大部門長



サドハラ マモル  
佐土原 護  
熊本江南RC

職業奉仕部門長



キノシタ オサム  
木下 修  
熊本RC

社会奉仕部門長



オイトテ タクシ  
追立 武  
熊本西稜RC

国際奉仕部門長



オノ ケンスケ  
小野 健介  
臼杵RC

青少年奉仕部門長



ヒラキ カツユキ  
関 克行  
熊本城東RC

ロータリー財団部門長



ハヤシ アキラ  
林 明  
熊本江南RC

米山記念奨学会部門長



エガワ ヨシヒロ  
江河 好洋  
宇佐2001RC

地区学友委員会委員長



セダカ テルヒロ  
瀬高 輝大  
八代RC



## 管理運営部門

### 各委員会の方針と取り組み

#### ●管理運営部門テーマ「多様性と伝統を大切に作るクラブ運営」

部門長 本庄 伸子（宇佐 RC）

～ 方針 ～

1. 社会情勢の変化や地域性に柔軟に対応できるクラブ運営を行う。例会や各種活動を臨機応変に開催し、クラブ内の意思疎通と情報共有を行える環境づくりを応援する。
2. 地区内、クラブ内のオンラインの研修や会合に積極的に参加して会員のモチベーションの保持を図る。
3. 今までとは違う環境下での悩みに対して、地区内の他クラブの情報収集や共有を図る。
4. 年齢や会員歴を超えた結びつきを深めるような行事や例会プログラムの情報を提供する。

～ 取り組み ～

- ・ 出前管理運営セミナーに対応するための部門内研修
- ・ 現在のクラブ運営の現状や新しい取り組みについてアンケートや電話での情報収集
- ・ 出前セミナーでの各種情報提供
- ・ 新会員向けの研修のサポート

#### ●クラブ戦略計画委員会

委員長 大石 勉（玉名 RC）

～ 一歩踏み出す、クラブ戦略計画 ～

クラブ戦略計画は、3年～5年先の理想の姿をクラブ会員全員で話し合うことで、会員のクラブに対するモチベーションを上げながらロータリークラブ特有の単年度制という弊害をカバーしつつ、中長期的な課題や目標を共有してクラブを前進させていくものです。

この重要性・必要性を今年度も各クラブにお届けして参りたいと思います。

そのために以下の2つの実施を目標にいたします。

##### 1. 様々なツールを活用して、戦略計画立案に一歩踏み出す

7月に実施される「クラブ活性化ワークショップ」と連動し、「クラブの健康チェック」「クラブ会員満足度チェック」「戦略計画立案ガイド」等のツールを活用しながら、戦略計画の立案に向けてクラブのサポートを致したいと思います。



## 2. クラブビジョン声明作成の推進

戦略計画立案の過程でクラブビジョンを策定していただき、これをクラブ会員で共有することによりクラブに明確な方向性を示してクラブ戦略計画の遂行に意思統一、一丸となることが重要であります。クラブビジョン声明を例会場に常に掲示するなど様々な取り組みや事例の情報を収集してクラブサポートをして参ります。

## ●クラブ管理運営委員会方針

委員長 村田 優子（人吉中央 RC）

### 1. クラブ管理運営の情報提供をする

### 2. 地区スローガン「友情いっぱいの仲間」を築く主体として自覚をもつ

### 3. 出前セミナー（Zoom、ハイブリッド）を実施する

クラブ管理運営委員会の役割は、各ロータリアンがロータリーについての知識を深め、各クラブが独自の奉仕を行う土台として自クラブの管理ならびに運営を効果的に行えるよう情報提供することです。

また、堀川ガバナーエレクトのスローガンで重点をおかれているように、「友情」を培い、「いっぱいの仲間」をつくりだす主体もクラブ管理運営委員会が担っていくべきだと思います。それが、「何か良いことをする」基盤となるのです。

それぞれのクラブ内で、新会員に対する研修や、ロータリーリーダーシップ研究会体験の希望があっても、ノウハウが不足している場合など、管理運営委員会が各クラブに赴き、出前セミナーを行っていきます。

次年度も引き続き、コロナ禍であるとすれば、Zoom やハイブリッドで出前セミナーを行うこともあります。

今年度は、3年に1度の規程審議会が開催される年です。そこで、新たに決定した事項や変更事項などを各クラブの定款、細則に反映させるため、説明する役割も加わります。

各クラブのそれぞれのロータリアンが、ロータリーの仕組みや、内容をよく理解し、会員同士が意思疎通を図ることにより、ロータリーの目的を遂行することができるように我々委員会は尽力して参ります。

**※出前セミナーの申し込みもお待ちしています！！**

# 公共イメージ部門

部門長 波佐間英樹（熊本中央 RC）

副部門長 松尾 巧（由布院 RC）

## 1 公共イメージ部門の活動方針

ジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー会長の年度テーマは「イマジンロータリー」です。このテーマは、ロータリアンが明るい未来を想像しましょう。という事です。ポリオも無く、安全な水が飲むことが出来、疾病もなく、全ての子どもが本を読むことができる世界を願っています。そのための優しさ、希望、愛、平和がすなわち『イマジンロータリー』なのです。

堀川ガバナーエレクトのご挨拶には『例年とは少し違った方法で、「元気あるクラブづくりをサポートする」ことを目的とした、研修委員会を中心に、この地区チーム研修～PETS～地区研修協議会と企画・運営をしてみたいです。』とのこと。また、公共イメージ部門に対してスローガンには『メディア対応ワンストップ化。奉仕活動の取材依頼を公共イメージ部門でお引き受け。出前セミナーの活発化』など指示をいただいております。

という事で本年度はコロナ禍の先もまだ見えない状態ですので少しずつ動けるように、まずは情報を頭の中に仕入れていただき、行動できるように頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

※公共イメージに関する現状と求められる活動

現状：『陰徳精神』による『控え目』で『消極的が美德』とする広報活動

団体としての理念やミッションに関する一般的なイメージが薄い

結果的に新会員の増強活動がなかなか進捗せず会員減少という事態

求められる活動：一般の方に

『ロータリーとは何か』『他の団体とどう違うのか』『なぜロータリーは大切なのか』を理解してもらうという課題のもとロータリーと人々に伝える方法を考え直す必要がある。『知られていないことは、存在しないことと同じ』である。どんなに素晴らしい活動を行っても、これが広く一般の方々に伝わらなければ、ロータリーの存在価値は向上せず、各種活動への協力は得られず、意欲に溢れた人材も集まらないと言うことを共通認識とした、積極的な広報活動が不可欠である。

## 2 委員会の活動方針

昨年度より変化いたします。マイロータリー登録に関しては会員増強にかかりました。

公共イメージ部門では下記を重点事項として活動していきます。

①メディア対応ワンストップ（マニュアル製作中）

②活動の投稿のやり方（マニュアル製作中）

③上記レクチャーを出張セミナー

・各ロータリークラブでの活動をテレビや新聞などのメディアを利用して、大分、熊本の県民の方々へ活動内容を周知していきたいと考えています。これはコロナ禍などにより会員減少の歯止めをかけ、会員増強のためのイメージアップにも一躍を担う事にもなります。そのために各テレビ局、新聞社に各ロータリーからワンストップで活動に対する取材の依頼が出来るようなシステムづくりをしていきたいと思います。各ロータリークラブでもそれぞれ依頼しやすいテレビ局と新聞社があるかと思えます。逆にどこに連絡したら良いのだろうかと考えていらっしゃるクラブがあれば窓口を開いて直接取材依頼を受け入れてもらえるように繋がりを構築出来るようにと考えています。

・できればガバナー月信からロータリーの友、そしてロータリーショーケースと連携して一回の投稿で連鎖してくれば良いのですが、それはやはり難しいようですので、一旦記事をワードなどで仕上げてコピーペーストで三箇所へ投稿すると言った方法も良いかと思えますが、各ロータリークラブのホームページへ投稿した物をペーストしていくといった方法が有効かと思えます。

メディアを利用した公共イメージを上げていく策を考えていけたらと思います。

最後に『入りて学べ、出でて奉仕せよ』を実行し部門での出張セミナーも活発に活動いたしたいと存じます。

## 会員増強拡大部門

### 会員拡大維持委員会 活動方針

会員増強拡大部門 部門長	佐土原 護 (熊本江南 RC)
副部門長	奥村 誠基 (熊本西南 RC)
会員拡大維持委員会 委員長	奥村 誠基 (熊本西南 RC)
会員拡大維持委員会 副委員長	四方美由紀 (熊本西稜 RC)
会員拡大維持委員会 副委員長	篠崎あずさ (熊本りんどう RC)

クラブの未来を確保するためには、新会員が必要不可欠私たちロータリークラブの活動を多くの地域にPRし、クラブの増強と維持に努める。

#### (具体的方針)

・衛星クラブの理解と出前セミナーにより、各クラブの浸透を図り立上げの支援を行い会員増強をはかる。  
また、若い世代、女性会員、ロータリークラブを知らない世代に、ロータリーの素晴らしさを伝え入会につなげる

#### (具体策)

1. 部門別協議会……………令和4年4月17日(日)10時～12時 オンライン開催

※ 対象者：会長・幹事・会員増強委員長

2. 地区クラブ活性化ワークショップ……………令和4年7月23日(土)

ホルトホール大分 (全員)

3. 出前セミナー……………随時

# 職業奉仕部門 活動方針

部門長 木下 修（熊本 RC）  
副部門長 古田 哲朗（熊本東南 RC）

## 1 部門の活動方針

「職業奉仕とロータリー」～我々はロータリアン！ 職業倫理を広めよう～

## 2 委員会の活動方針

職業奉仕は、ロータリーの歴史と共に歩んで参りました。ロータリーは変化しますが、職業奉仕の理念は変わりません。職業奉仕がロータリーの金看板であるが所以です。職業奉仕を理解すれば、ロータリーの素晴らしさが分かります。ロータリーの誕生から、職業奉仕の誕生、そしてロータリアンとしての社会的使命を感じてもらえれば、職業人のリーダーとして、私たちは益々社会のお役に立つことが出来るでしょう。

2022-2023 年度の職業奉仕部門は、上記のスローガンを念頭に、職業倫理を広めることによって、我々ロータリアンが社会の模範となることを目指します。

## 3 出前セミナーメニュー

- ① ロータリーの誕生と職業奉仕
- ② ポール・ハリスの社会創造
- ③ 職業分類について
- ④ 職業奉仕と社会奉仕
- ⑤ 企業の繁栄と職業奉仕
- ⑥ ロータリアンの職業宣言と行動規範
- ⑦ 職業奉仕の実践

クラブの皆様は、職業奉仕を理解してもらうことが、私たち部門の務めです。わかりやすく、多くの図解を用いて、ロータリー歴が短い方でも理解しやすいセミナーを目指します。

## 4 セミナー等の日程

2022 年 8 月以降より、出前セミナーを実施

## 社会奉仕部門 活動方針

部門長 追立 武（熊本西稜 RC）

副部門長 大石 三千雄（宇佐 2001RC）

ジェニファー・ジョーンズ RI 会長エレクトの講演の中に、会員がロータリーでどんな経験を求めているかを聞き、果たしがいのある責任を会員に与える必要があります。ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが目的意識と熱意を生み出します。これが私達の責任です。会員に奉仕できなければ、地域社会への奉仕もできません。と述べています。地区スローガンでは「ロータリーはつながりで溢れている」～友情いっぱい仲間となにかよいことをしましょう～とありますが先程の講演の一文にも通ずるものだと思います。

### 2022 ～ 2023 年度社会奉仕部門の方針

- ① 日本ではまだ事例の少ないロータリー地域社会共同体（RCC）について、わかりやすく説明し、全クラブへ実施の可能性を提案する。
  - ② 2021 ～ 2022 年度の部門の方針でもあります“災害・コロナ禍で困っている弱者に目を向けましょう”を継続します。その中でも子ども食堂の支援の可能性を考えていきます。
  - ③ 地区補助金を活用した社会奉仕のサポートを行っていきます。
- 各クラブおよび所属するロータリアン各人が奉仕活動に積極的に取り組んでいただく事で、ロータリーに対する人々の認識が向上することを切望いたします。

### 社会奉仕委員会 活動方針

委員長 岩川 義枝（大分南 RC）

副委員長 森永 隆二（大分キャピタル RC）

社会奉仕部門方針の 3 つの柱を実践してまいります。

出前セミナーを通じて、地元のニーズに取り組むクラブの社会奉仕プロジェクトを支援してまいります。

プロジェクトのライフサイクルに沿って、ロータリーのオンラインツールを活用して活動の計画、実施、評価を行うように各クラブに奨励していきます。

地区のスローガンは「ロータリーはつながりで溢れている」～友情いっぱい仲間となにかよいことをしましょう～です。

奉仕活動を実践していく事によって、絆を深めて頂ける様な御提案を考えていきます。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 国際奉仕部門活動方針

### ・部門テーマ『繋（つな）ごう！国際奉仕の絆』

（今だコロナ禍が続いていますので今年も継続します。）

部門長 小野 健介（臼杵 RC）

副部門長 岸川健太郎（熊本西南 RC）

委員長 小嶋 一範（大分東 RC）

副委員長 汐月 泰夫（大分キャピタル RC）

部門担当研修委員 井上弘太郎（熊本城東 RC）

#### ●ガバナーエレクトの希望

クラブと地区が国際的なプロジェクトや質の高い大規模なグローバル補助金を立案する上で援助できる人材（専門的な知識を持つ地元ロータリアンやロータリー学友など）を紹介し、地区内クラブを海外の協力クラブと引き合わせたり、プロジェクトや補助金の計画について助言できる地元専門家のネットワークを築いたりして欲しい。

#### ●事業計画（案）

- ① 従来のセミナーは行わずに、国際奉仕に意欲を示すクラブに赴き、その例会の中で出前出張の卓話を実践し、磨きをかけながら国際奉仕への理解を深めてゆく事。
- ② コロナ禍の現状を見据えてウィズコロナ、アフターコロナの国際奉仕の実践を支援、サポートする。
- ③ ロータリー財団部門、米山奨学部門とタイアップしてグローバル補助金事業や米山学友等との関わり合いを通じて、より豊かな国際交流をバックアップしてゆく。
- ④ 地区内で国際交流を希望し、実践するクラブを増やしてゆく。
- ⑤ 常に「より良い国際奉仕のあり方」を模索し何か形づくってゆく。

●大森年度の国際奉仕部門は地区内各クラブの皆様に対しまして、ベトナム新型コロナワクチン基金へのご支援を戴きました事に衷心より厚く御礼申し上げます。今年に入って1月に福岡で開催されたベトナム新型コロナワクチン基金の披露式で 当地区ご支援含めた基金の総額が12,728,755円との事で改めて、感謝申し上げます。

さて堀川年度の国際奉仕部門は前々年の硯川ガバナー年度の後半で実施した「コロナ禍における国際奉仕」についてのアンケートにみられた、現在国際奉仕を実施していないがアフターコロナで実施したいというクラブを対象に、出前出張卓話を企画して部門メンバーが出向き、実行する計画を主な事業にしていきたいと考えております。

内容はほぼ同じ内容で時系列を多少変更すべき処は変えて、国際奉仕部門全員が共有できるコンテンツを確立して実施して行きたいと思っております。

現在、当地区で国際奉仕を実施しているクラブが全体の35%ですが、この数を押し上げて、出来れば50%にできればと考えております。

## 『地区研修・部門別協議会』

国際奉仕部門パート

2022.4.10（日）13：30～15：30

熊本パレアより ZOOM 配信

・事例発表として

1) 熊本西稜 RC 松富委員より

「カンボジアとの交流事業の実施状況」

2) 宇佐 RC 米澤委員より

「オーストラリア・韓国との交流事業の実施状況」

以上2クラブより発表をお願いします。何卒宜しくお願いします。

## 『国際奉仕部門の出前セミナーの考え方』

堀川年度で国際奉仕部門が計画する出前セミナーに対する考え方は、前々年コロナ禍に襲われた際に区内全クラブに対して実施したアンケート結果を元に、現在国際奉仕事業を実施していないが、アフターコロナの段階で国際奉仕をやってみたい、或いは興味を示しているクラブを訪問して、部門の方針や国際奉仕の魅力をお伝え出来たらと考えております。

まず大森年度の残りの期間で、コロナ感染が収まってきたら実施してみて、堀川年度に入り、熊本県で3クラブ、大分県で3クラブを訪問して実施出来ればと思っております。

・実施の内容（次第案）

例会での持ち時間は30分

1. 部門長挨拶（私が伺えなければ、副部門長）約3分

2. 国際奉仕部門からのメッセージ（プレゼン）約20分

※地区委員の中から国際奉仕事業の事例発表も加える。

3. 質疑応答 約7分



# 青少年奉仕部門

## 各委員会活動方針

部門長 開 克行（熊本城東 R C）

副部門長 井上 邦広（大分キャピタル R C）

### 部門方針

#### ・「Opportunity Offer（機会の提供）」

### 青少年奉仕部門は青少年への機会提供の場を創造する部門

### 部門活動方針

#### 1. 4 委員会の連携強化（コラボ）

部門内 4 委員長を構成員とする青少年奉仕委員会での議論を活発に行い、  
これまで以上に部門内 4 委員会の連携強化を図る。

- ・ IA 例会に ROTEX 卓話
- ・ RA 留学生交流会へ ROTEX 参加
- ・ RYLA への ROTEX 参加
- ・ IA と RA の合同例会、奉仕活動

#### 2. クラブ委員会の配置と支援体制の強化

- ・ 各クラブに青少年交換委員と R Y L A 委員の担当委員配置
- ・ 提唱クラブのインターアクト委員長、ローターアクト委員長の地区委員参加

#### 3. 出前セミナーの活用

- ・ 青少年奉仕部門特に青少年交換委員会と RYLA 委員会の活動を周知し認知して頂き活動支援体制を構築する

#### 4. 相互研鑽

- ・ 全国の研修会等に参加し、青少年奉仕活動をより魅力あるものとする

### 重点課題

- ・ 今後のローターアクトについて
- ・ インターアクトの海外研修
- ・ 魅力的な R Y L A の開催
- ・ 青少年交換の受入れ体制  
危機管理体制の強化

## ◇ローターアクト委員会活動方針

委員長 中山諭扶哉（八代 R C）

RA 委員会は、ローターアクトクラブの活動を支援し、ボランティア活動などを通じて、次世代を担うリーダーシップを発揮できる人材を育成することを目的とする。現在の RA はコロナ禍の中、活動自粛や会員減少と大きなダメージを受けている。上記目的達成のため、時代に適した活動を行っていくことが必要とされ、活動一つ一つに意味合いや意義を持ち、

ローターアクト活動の重要性を高めていきたい。

また、昨年は各提唱クラブとの意見交換を行い、現状把握ができた。本年はこちらから出向き、地区担当委員会として提唱クラブをサポートしていきたい。

## ◇インターアクト委員会活動方針

委員長 阿部 克哉（大分東 R C）

副委員長 横山 茂男（大分臨海 R C）

中尾 衣井子（八代東 R C）

- ・ 既存の IAC 活性化
- ・ 新規 IAC 創立時の協力
- ・ 出前セミナー

## ◇ RYLA 委員会

委員長 後藤 真吾（大分キャピタル R C）

### 【基本方針】

RYLA とは、「Rotary Youth Leadership Awards」の頭文字をとって、

通称【RYLA（ライラ）】

日本語訳すると・・・「ロータリー青少年指導者養成プログラム」

地域社会の次世代のリーダーがつながり、アイデアを広げ、行動を起こすきっかけを生み出すイベント RYLA セミナーを開催し、青少年へ「Opportunity Offer（機会の提供）」を与え、様々な人との出会い、リーダーシップのスキルと人格を養う

### 【活動方針】

1. 魅力的な RYLA セミナーの開催
2. RYLA セミナー開催候補地の検討
3. RYLA セミナーの意義と周知を各クラブへ行う（DVD の活用・出前セミナーの開催）
4. 各クラブへ RYLA 委員の担当委員配置を促す
5. 青少年部門 4 委員会の連携強化を図り、活動協力と相互研鑽する

6. 全国の RYLA セミナーの情報を集めより良い RYLA セミナーを創る
7. 危機管理を学び体制の強化に努める

## ◇青少年交換委員会

委員長 岡崎 利昭（熊本城東 R C）

副委員長 馬ノ 昌実（別府 R C）

### I. 長 / 短期青少年交換を再開する

- 1) 派遣期間，派遣生募集期間その他の詳細を記した募集要項を再作成して，地区内各クラブに配布する。
- 2) 交換生募集活動の一環として，青少年交換活動に関する " 出前セミナー " を各クラブでの卓話として実施する。
- 3) 派遣 / 被交換生 (ROTEX) に協力を仰ぎ，同セミナー（卓話）にて自らの経験をプレゼンテーションしてもらう。プレゼンテーションには Zoom 及び予め収録した動画を活用する。
- 4) 交換プログラムによる派遣が決定した生徒については，事前英語研修を中心として十分なオリエンテーションを行う。

### II. 部門内の他委員会との協業を図りシナジー効果を向上させる

- 1) インターアクト委員会と協力し，地区内，更には九州内，海外の高校との " 英語ディベート大会 " 実行の端緒をつかむ。これにより青少年交換参加者の裾野を広げる。
- 2) ローターアクト及び RYLA 両委員会と協力し，ROTEX の経験・知見を共有する機会創設を図る。

### III. 派遣 / 被交換生 (ROTEX) の進学，キャリア・アップ支援を図る

- 1) 地区内の ROTEX 名簿作成に着手する。
- 2) 各 ROTEX の協力を仰ぎ，（長期）交換後の進学 / 就職のモデルや可能性を示す資料作成の途に就く。
- 3) 上記により，青少年交換事業の更なる広報及び発展につなげる。



## 『ロータリー財団とは』

“世界でよいことをしよう！！”

R4.3.12 PETS(Zoom) 資料  
国際ロータリー第2720地区  
ロータリー財団部門

### 地区補助金支給基準 1



1. ロータリー財団の**使命**に関連していること。

ロータリー財団の使命とは、ロータリアンが、**健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済**することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

人道的

環境保全

教育的

2. ロータリアンが**積極的に関与**すること。

ロータリアンが、奉仕プロジェクトに**直接参加**し、汗を流し、知恵を絞って活動すること。

### 補助金の種類



#### ① 地区補助金(DG)

- ・資金が一括して支払われ、クラブや地区が地元や海外の差し迫ったニーズに取り組むために利用できます。
- ・3年前の年次基金と恒久基金の運用益を足したその47.5%がDDF(地区財団活動資金)として、地区にその配分が任されます。このDDFの金額の50%を上限として、地区補助金(DG)に使うことができます。  
(前年度からの繰越金は含まれません。)

### グローバル補助金(国際的活動)



#### 7つの重点分野



平和構築と紛争予防  
疾病予防と治療  
水と衛生  
母子の健康  
地域社会の経済の発展  
**基本的教育と識字率向上**  
環境(2021.7より)

※グローバル補助金においては**重点分野**以外の使途に使用できません。

### 補助金の種類



#### ② グローバル補助金(GG)

- ・プロジェクト総額30,000ドル~400,000ドルの範囲で、7つの重点分野に関連し、長期的に大きな成果をもたらす活動を支援します。
- ・DDFより地区補助金分を差し引いた金額に、前年度からの繰越金を足して、さらにそこからポリオ・プラスへの寄付と平和センターへの寄付を差し引いた金額がグローバル補助金の予算額となります。

### プロジェクト(重点分野の1つ もしくは複数のプロジェクト)



1. 人道的プロジェクト  
持続可能な成果をもたらす。
2. VTT(職業研修チーム)  
ロータリアンがチームリーダーとなり、海外で指導・研修するチーム
3. 奨学金  
海外大学で学位(修士号, 博士号)取得。卒業後は専門分野での活動を行い、又、ロータリーの学友として、世界の架け橋となる人材育成を目的とします。

### ロータリー財団のさまざまな活動



#### ポリオ根絶はロータリーの最優先課題

2020年8月26日 WHOはアフリカ地域（ナイジェリア）の野生型ポリオウイルスの根絶を認定しました。残る常在国は中東パキスタン・アフガニスタンの2カ国です。

#### 災害救援補助金

過去6カ月間に発生した、自然災害により発生した地域における救援・復旧活動を支援します。  
※Covid-19関連は不可。

#### 平和フェローシップ

世界平和と開発の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築く事を目的とした奨学金プログラムです。

### 目標！！



- ・年次基金：一人当たり 150ドル以上
- ・ポリオプラス：一人当たり 30ドル以上
- ・寄付0クラブをなくそう(補助金受給の条件です)
- ・恒久基金：冠名基金の推進
- ・大口寄付：10,000ドル以上を推進しましょう

又、グローバル・地区補助金の活用を推進  
平和フェローシップの推進

### ロータリー財団への寄付について



※皆さんの寄付の約7割は、クラブ・地区の活動資金として還ってきます。  
※税制上の優遇措置を受けられます。

### 大森年度 寄付0クラブ



※寄付は早目の送金をお願いします。

- |           |         |        |
|-----------|---------|--------|
| ・天草       | ・熊本東    | ・八代北   |
| ・天草パールライン | ・熊本グリーン | ・国東    |
| ・阿蘇       | ・熊本菊南   | ・玖珠    |
| ・肥後小国     | ・西天草    | ・竹田    |
| ・肥後大津     | ・玉名中央   | ・宇佐八幡  |
| ・菊池       | ・宇城     | ・臼杵中央  |
| ・熊本中央     | ・牛深     | 計20クラブ |

### 寄付をする = 奉仕活動

注)2022年1月31日現在

### 税制上の優遇措置(個人)

1. 「所得控除」または「税額控除」のいずれかを選択することができます。
2. (お住いの)都道府県・市町村(によっては)条例により個人住民税の税額控除が受けられます

会員の皆様の確定申告用の領収証は、クラブ宛にお送りしています。

7-12月寄付分 → 1月末発送  
1-6月寄付分 → 7月末発送

### より大きなインパクトをもたらす！！ 出前セミナー



1. 地区内の各クラブの例会、合同例会に訪問しセミナー(卓話)を行う事です。
2. 財団のメニューの中から、今!!知りたい事、学びたい事を選んでリクエストできます。
3. 地区事務所を通じて連絡を頂きます。  
大分地区担当：資金推進委員長 高見 裕司 (大分キャピタル)  
熊本地区担当：財団副部門長 伊牟田 徹 (Japan O.K REC)

## 米山記念奨学会部門活動方針

部門長 江河 好洋 (宇佐 2001RC)

米山記念奨学金事業というものはロータリークラブ会員個々のご支援により成り立っている、ということ  
を念頭に置き、

1. 米山記念奨学金事業の理念ならびにロータリー活動の目的等を推薦いただく学校担当者の方へより一層の理解を深めていただく。
2. 学業成績だけでなく、米山記念奨学金事業の理念やロータリーへの理解を深めて貰える優秀な学生を選考する。
3. 学生をお預かりしていただく世話クラブやカウンセラーの方々へのサポートを行う。
4. 地区米山学友会のより一層の活性化を図るための支援を行う。

という4つの柱を中心に部門内の4つの委員会で必要な事業を実施していきたいと思います。

### ◆米山記念奨学委員会

委員長 江河 好洋 (宇佐 2001RC)

この委員会は部門内委員会の各委員長と前部門長からなる委員会で、部門内各委員会や地区や米山本部との窓口との連絡調整を行います。また、米山部門で取り組む事業はその企画等は各委員会で対応しますが、実行は部門内全委員会で対処するためその実行計画を立案し実施します。

### ◆米山資金推進委員会

委員長 立野 文生 (熊本中央 RC)

#### 活動方針

他委員会と連携を取り米山事業の寄付金増進を目標に企画・運営していきます。

2720地区米山寄付目標を会員1人/クラブ普通寄付+個人特別寄付=15,000円としクラブ普通寄付(現状の1人当たり1,000円UP)の増進を図ります。

個人・クラブ特別寄付(毎月米山デーを決め各クラブ例会でニコニコ・スマイルBOXを設置)等を実施していただくようお願いする。

#### 1. 活動計画

2021年度と同様に奨学生の卓話をYouTubeにアップロードします。

米山記念奨学委員会委員と共に地区内のクラブに卓話訪問に伺う準備をします。

期間は7月~12月できるだけ多くのクラブに米山理解を求めて訪問できるよう企画します。

### ◆米山奨学生選考委員会

委員長 陶山 誠司 (OKREC)

#### 1. 活動方針

一人でも多くの優秀な学生を採用するために、最大限の計画を立案し実施します。

## 2. 活動計画

- ①7月の指定校選定委員会では、6月の中旬に決定する2720地区の採用数決定に伴い、より優秀な学生を採用するために、各大学の特徴や実績を考慮して指定校と被推薦者の決定と地区の選考目安の見直しを行います。
- ②9月の学校訪問と指定校説明会では、ロータリーの活動や米山記念奨学会の事業について、また、今年度の地区の選考目安について、指導教官や留学生の担当者に十分な説明を行い、学内選考で優秀で米山奨学生に相応しい学生を選考していただくようお願いをします。
- ③12月の中旬に、毎年、面接官オリエンテーション・米山奨学生選考会を開催しております。2022年度米山奨学生選考会は12月に大分、熊本で開催する予定です。
- ④1月末日まで、世話クラブの募集を行い、2月の中旬に世話クラブ選考委員会を開催して世話クラブの決定を行います。

## 3. 地区の状況

- ①2022年度の新規採用数は指定校対象米山奨学生が10名、そして海外応募卒生が1名、そして2021年度からの継続の学生が10名の、総勢21名の米山奨学生が在籍しております。国籍は韓国4名、中国8名、ベトナム3名、インドネシア、モンゴル、スリランカ、ミャンマー、インド、マレーシアが各1名の9カ国になります。
- ②現在、熊本5クラブ、大分6クラブが未経験ですが、次年度以降も未経験のクラブに呼びかけて、一人でも多くのロータリアンと米山奨学生が交流できるように努力してまいります。

### ◆米山学友会・奨学生委員会

委員長 片山 勇（大分臨海 RC）

#### 1. 活動方針

昨年度はコロナウイルス感染症拡大に伴い学友会としての活動が大きく制限され、学友同士が交流を深める機会が少ない1年となってしまいました。今年度は未だ感染収束の見通しが不透明ではありますが、このような不安定な時期であるからこそ学友同士の絆を深める機会を作り、学友同士の交流を図りたいと考えます。

#### 2. 活動計画

- 4～5月：学友ミーティング（オンライン開催）

出来る限り呼びかけを行い、学友同士の近況報告や夏季研修会への参加呼び掛け、学友交流の企画検討等を行う。

- 7月中旬：夏季研修

学友会からの参加を積極的に呼び掛けます。

- 学友交流会

可能であれば直接会って行う交流・親睦会を開催したい。開催時期や内容については上記学友ミーティング時に検討・企画したいと考えております。

#### ◆出前講座メニュー

- ①地区米山委員による事業概要 5分
- ②奨学生による卓話 25分



国際ロータリー第720地区 2022～23年度



## 管理運営部門出前セミナーのご案内

管理運営部門テーマ ～ 多様性と伝統を大切にするクラブ運営 ～

社会情勢の変化や地域性に柔軟に対応できるクラブ運営を行い、年齢や会員歴を超えた結びつきを深めるような行事や例会プログラムの情報を提供する。

### ～ 出前セミナーメニュー ～

#### ①定款変更に伴うクラブ多様性（細則等）への対応

規定審議会後の細則変更について、各クラブでの解釈や変更への取り組みのお手伝いをいたします。

#### ②クラブ戦略計画の推進

「クラブ活性化ワークショップ」と連動し、「クラブの健康チェック」「クラブ会員満足度チェック」「戦略計画立案ガイド」等のツールを活用しながら、戦略計画の立案に向けてクラブのサポートをいたします。


#### ③新会員研修のお手伝い

各クラブの状況に合わせた資料探しから研修の実施までお手伝いいたします。

#### ④クラブ運営、オンライン(ハイブリッド)例会開催、例会プログラムに関する情報提供

クラブ運営や例会プログラムにおける疑問等に関する情報提供を行います。また、オンライン例会やハイブリッド例会開催のお手伝いをいたします。

お申込みは、地区事務所へ FAX 096(355)2720 E-mail ri2720gof@eos.ocn.ne.jp

管理運営セミナー申込書	
クラブ名	
連絡先	TEL: _____ FAX: _____ メール: _____
担当者名	役職: _____
セミナー希望メニュー	①      ②      ③      ④      ⑤(その他 _____)
セミナー形式	通常例会卓話 ( 昼 ・ 夜 ・ その他 )    /    オンライン
※具体的な希望がありましたらお書きください	
	



## 公共イメージ出前セミナー 2022-2023

RI2720 地区ロータリー公共イメージ部門では、ロータリークラブのイメージアップをはかるべく積極的な PR 活動を推奨していきます。そのための出前セミナーを準備致しましたので、ご要望があれば希望日を記載してご連絡くださいませ。

### MENU

- ①『メディアワンストップ対応の方法』
- ②『奉仕活動報告の投稿方法』
- ③『ロータリーって何ですか?』と聞かれたら

MENU No.	第一希望 日時	第二希望 日時	第三希望 日時

※申込みが重複した時は調整をお願いする事があります。

年 月 日

ロータリークラブ

申込者 委員会 氏名 携帯

クラブ Mail:

クラブ TEL:

送信先 : ri2720gof@eos.ocn.ne.jp FAX:096-355-2720



国際ロータリー第2720地区 2022-2023年度  
**会員増強拡大部門 出前セミナーご案内**

( 部門テーマ )

クラブの未来を確保するためには、新会員が必要不可欠  
 私たちロータリークラブの活動を多くの地域にPRし、クラブの増強と維持に努める。

( 出前セミナー メニュー )

私たち会員増強拡大部門は、個々のクラブの会員増強と維持のために下記のメニューを準備致しました。各クラブの皆様の少しでもお役に立てるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

- 【A】 衛星クラブ (初期編)**
  - ・衛星クラブとは・・・ (15分程度)
  - ・貴クラブを知ろう (10分～15分)
- 【B】 衛星クラブ (応用編)**
  - ・具体的な設立に向けた準備 (計画) (10分～15分)
  - ・設立後の活動を考えよう (10分程度)
- 【C】 個々の地域でロータリーを知らない世代にアプローチ**
  - ・ロータリークラブを知らない世代 (10分程度)
  - ・どのようにして・・・アプローチしますか? (10分程度)

----- 出前セミナー申し込み依頼 -----

クラブ名		
連絡先	TEL (携帯)	
	FAX	
	メールアドレス	
	担当者名	
	担当者役職	
依頼メニュー記号を記載下さい	【           】	
セミナー方式	リアル (卓話)	・ オンライン
参加予定者数	名	
ご意見・ご要望があれば・・・		

お申し込みは地区事務所へ

FAX : 096-355-2720

Eメール : ri2720gof@eos.ocn.ne.jp

## 職業奉仕部門 出前メニュー

### 『職業奉仕とロータリー』

～我々はロータリアン！職業倫理を広めよう～

お申込みは地区事務所へ FAX 096-355-2720 E-mail ri2720gof@eos.ocn.ne.jp

職業奉仕セミナー申込書	
クラブ名	
連絡先	担当者名
	担当者役職
	TEL（携帯）
	FAX
	メールアドレス
希望出前メニュー	『職業奉仕とロータリー』 ～我々はロータリアン！職業倫理を広めよう～
開催方法	リアル（卓話） / オンライン
参加予定人数	
希望日時	
その他要望等	

～ 社会奉仕部門出前セミナーメニュー ～

① ロータリー地域社会共同体（RCC）の説明

日本ではまだ事例の少ないロータリー地域社会共同体（RCC）について、わかりやすく説明し、全クラブへ実施の可能性を提案する。

② 子ども食堂の支援について

2021～2022年度の部門の方針でもあります”災害・コロナ禍で困っている弱者に目を向けましょう“を継続します。その中でも子ども食堂の支援の可能性を考えていきます。

③ 各クラブの社会奉仕活動の事例

地区補助金を活用した社会奉仕のサポートを行っていきます。

社会奉仕セミナー申込書		
クラブ名		
連絡先	担当者名	
	担当者役職	
	TEL(携帯)	
	FAX	
	メールアドレス	
希望出前メニュー	①                      ②                      ③	
開催方法	リアル(卓話)    /    オンライン	
参加予定人数		
希望日時		
その他要望等		

お申込みは地区事務所へ FAX 096-355-2720 E-mail ri2720gof@eos.ocn.ne.jp

## 国際奉仕部門 出前メニュー

国際奉仕活動にこれから取り組むクラブ向け

『さあ国際奉仕をはじめよう』

～国際奉仕の魅力と事例報告～

お申込みは地区事務所へ FAX 096-355-2720 E-mail ri2720gof@eos.ocn.ne.jp

国際奉仕セミナー申込書		
クラブ名		
連絡先	担当者名	
	担当者役職	
	TEL（携帯）	
	FAX	
	メールアドレス	
希望出前メニュー	『さあ国際奉仕をはじめよう』	
開催方法	リアル（卓話） / オンライン	
参加予定人数		
希望日時		
その他要望等		

国際ロータリー第 2720 地区 2022～2023 年度  
**青少年奉仕部門出前セミナー申込書**

部門方針

**「Opportunity Offer（機会の提供）」**

青少年奉仕部門は青少年への機会提供の場を創造する部門

**出前メニュー**

 **① RYLA（ライラ）委員会**


RYLA の意味、RYLA の歴史等、RYLA についてご案内いたします。  
 RYLA に必ず参加したくなるメニューです！

 **② 青少年交換委員会**

青少年交換とはいったい何なのか？どうしたら参加できるのか？  
 皆さまの様々な疑問にお答えします！

 **③ インターアクト委員会**

インターアクトを提唱してみようかな？そんなクラブの皆さま！  
 また、インターアクトクラブにご興味あるクラブの皆さま、是非  
 私どもの出前セミナーへお声がけください！

 **④ ローターアクト委員会**

ローターアクト提唱クラブの皆さま、今後のローターアクトについて  
 一緒に考えましょう！

**お申し込みは地区事務所へ FAX 096(355)2720 E-mail ri2720gof@eos.ocn.ne.jp**

**青少年奉仕部門 出前セミナー申込書**

貴クラブ名			
ご連絡先 (ご担当者様と連絡がつく)	TEL:	FAX:	
	メール:		
ご担当者	役職:		
希望メニュー <input type="checkbox"/> ① / <input type="checkbox"/> ② / <input type="checkbox"/> ③ / <input type="checkbox"/> ④ / <input type="checkbox"/> ⑤(その他オリジナルメニューを相談)			
セミナー形式 通常例会卓話 ( <input type="checkbox"/> 昼 / <input type="checkbox"/> 夜) <input type="checkbox"/> オンライン併用、またはオンライン			

※その他、ご希望がありましたらメール等で別途ご連絡ください。





ロータリー財団出前セミナー  
2022～2023 年度

R I 2 7 2 0 地区ロータリー財団部門では、皆様へ財団への理解と活動推進の為  
下記のメニューを準備致しました。下記に希望日を記載して御返信下さい。

M E N U

- 1. 地区補助金で地域を生き活きと! (地区補助金委員会) 15分
- 2. 寄付とその活用を! (資金推進委員会) 20分 平和構築と紛争予防
- 3. 補助金の適切な管理 (資金管理委員会) 15分
- 4. 世界でよいことをしよう! (グローバル補助金委員会) 20分
- 5. ロータリーカードで世界を救おう (ポリオプラス委員会) 15分 疾病予防と治療
- 6. 世界平和の為に何を (平和フェロシップ委員会) 15分
- 7. ロータリー財団とは? (R財団部門) 30分

MENU No.	第1希望 日時	第2希望 日時	第3希望 日時
地域社会の経済発展			水と衛生

※申込みが重複した時は調整をお願いする事があります。

年 月 日

基本的教育と識字率向上 ロータリークラブ

申込者 \_\_\_\_\_ 委員会 氏名 \_\_\_\_\_ 携帯 \_\_\_\_\_

クラブ Mail \_\_\_\_\_ クラブ TEL \_\_\_\_\_

※今、一番知りたい、学びたい事をお書き下さい。

返信先：[E-mail ri2720gof@eos.ocn.ne.jp](mailto:ri2720gof@eos.ocn.ne.jp) FAX 096-355-2720

## 米山記念奨学会部門 出前メニュー

### 『米山記念奨学生による卓話と事業内容』

地区米山委員による事業概要の説明(5分)  
奨学生による卓話(25分)

お申込みは地区事務所へ FAX 096-355-2720 E-mail ri2720gof@eos.ocn.ne.jp

米山記念奨学会セミナー申込書	
クラブ名	
連絡先	担当者名
	担当者役職
	TEL(携帯)
	FAX
	メールアドレス
希望出前メニュー	米山記念奨学生による卓話と事業内容
開催方法	リアル(卓話) / オンライン
参加予定人数	
希望日時	
その他要望等	

RI第2720地区 2022-2023年度 地区資金予算書(案)

2022年7月1日~2023年6月30日

(単位:円)

	項目	2021-2022予算 (前年度予算)	2022-2023予算 (当年度予算)	増減	適用
収入	地区分担金予算計	35,800,000	34,400,000	▲ 1,400,000	前期より100名減で試算
	地区大会予算計	25,260,000	23,100,000	▲ 2,160,000	会員登録料を少なく試算
	PETS予算計	825,000	825,000	0	
	地区研修・協議会予算計	3,250,000	3,000,000	▲ 250,000	前期よりも50名減で試算
	その他研修登録料予算計	450,000	675,000	225,000	RYLA登録料等を前年度より多く試算
	その他予算計	20,300	20,300	0	
	当年度 合計	65,605,300	62,020,300	▲ 3,585,000	
	前年度繰越金	25,000,000	30,000,000	5,000,000	現状を収支状況を考慮した予測額
収入合計		90,605,300	92,020,300	1,415,000	
事業費	地区役員活動費	3,960,000	3,960,000	0	
	RIガバナー経費	2,200,000	2,200,000	0	
	地区運営費	2,860,000	3,000,000	140,000	
	補助金	3,500,000	3,300,000	▲ 200,000	
	会議・研修費	520,000	520,000	0	
	地区事務所維持費	10,210,000	10,210,000	0	
	地区大会運営費	22,900,000	23,100,000	200,000	
	次年度会議費	7,255,000	7,005,000	▲ 250,000	
	次々年度会議費(会長ノミニー研修会)	200,000	200,000	0	
	記念品代	250,000	250,000	0	
	日本ロータリー関係費	1,680,000	1,380,000	▲ 300,000	前期より100名減で試算
	地区委員会活動費	940,000	1,010,000	70,000	
	その他	2,160,000	2,120,000	▲ 40,000	
	委員会費	管理運営部門活動費	500,000	170,000	▲ 330,000
公共イメージ部門活動費		417,000	340,000	▲ 77,000	同上
会員増強部門活動費		970,000	151,000	▲ 819,000	同上
職業奉仕部門活動費		410,000	195,000	▲ 215,000	同上
社会奉仕部門活動費		255,000	150,000	▲ 105,000	
国際奉仕部門活動費		200,000	200,000	0	
青少年奉仕部門活動費		2,304,000	5,040,560	2,736,560	青少年交換事業の再開を予定
ロータリー財団部門活動費		1,103,000	830,000	▲ 273,000	出前セミナー等による会場費の減少
米山記念奨学部門活動費		280,000	250,000	▲ 30,000	
雑費		60,000	60,000	0	
予備費		450,000	2,000,000	1,550,000	
支出合計		65,584,000	67,641,560	2,057,560	
当期収支差額(次年度繰越額)		25,021,300	24,378,740	▲ 642,560	

RI第2720地区 2022 – 2023年度 地区資金予算書（案）

地区運営分担金等

（単位：円）

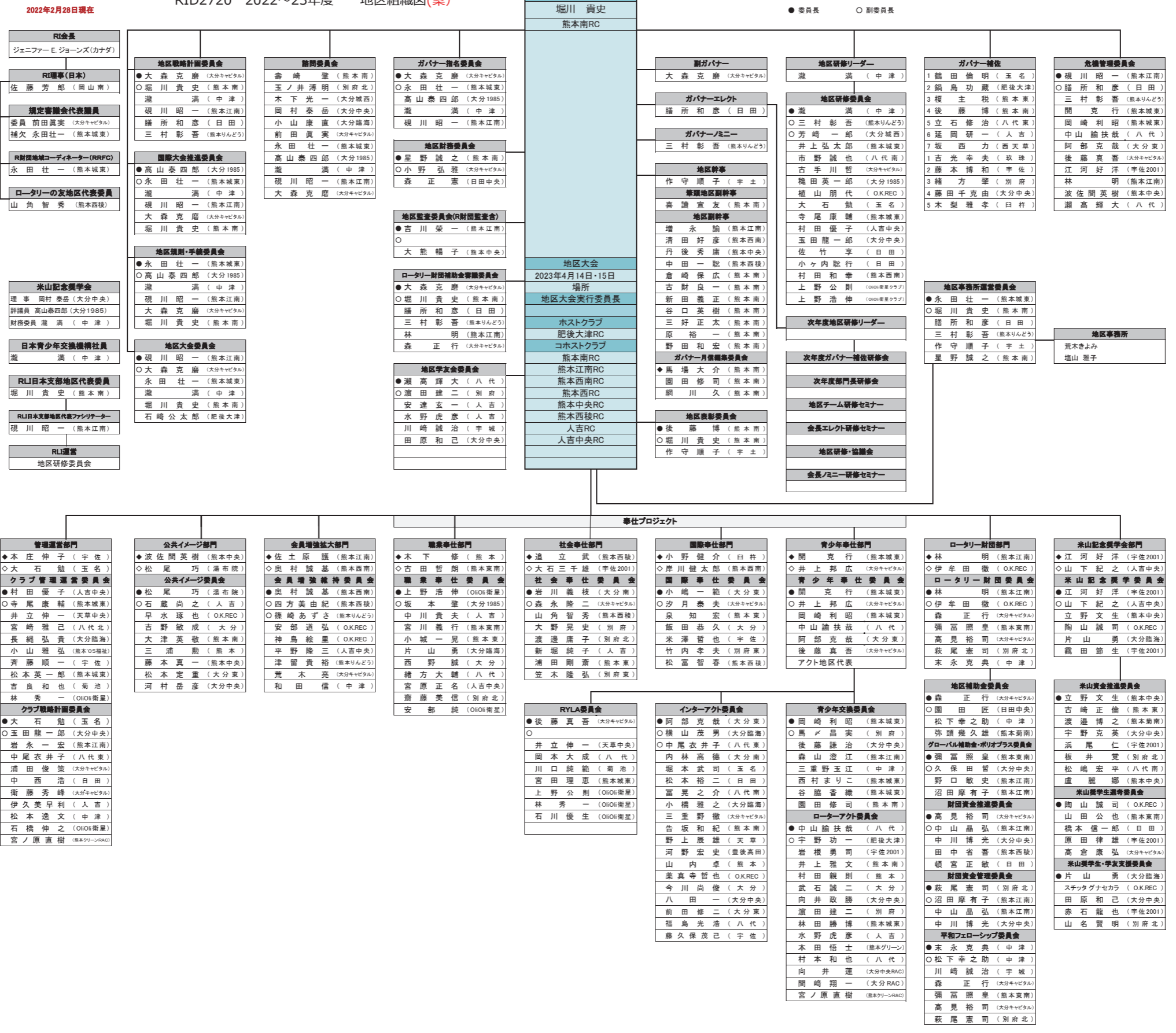
項 目	2022-23予算
地区運営分担金	12,000
公共イメージ運営費	600
地区大会分担金	4,500
日本青少年交換委員会分担金	200
青少年交換分担金	800
災害見舞積立金	400
合計	18,500

次年度地区大会日程及び場所（案）

期日：2023年4月14日（金）～16日（日）

場所：人吉市

RID2720 2022~23年度 地区組織図(案)



2022/3/7 堀川年度行事予定表(2022~2023年度) 紫字は日程が確定したもの  
黒字は検討中の日程

会長工レト懇談会 未定 公式訪問決定 大森年度 堀川年度 周年行事 贈所年度

2021年 (令和3年)												2022年 (令和4年)												2023年 (令和5年)											
GE												G												2022/3/1現在											
日付	7月	8月	9月	10月	11月	12月	日付	1月	2月	3月	4月	5月	6月	日付	7月 熊本⑥	8月 熊本④	9月 熊本⑦	10月 大分②	11月 大分⑤	12月 大分③	日付	1月 大分①	2月 大分④	3月 熊本③	4月 熊本②	5月 熊本①	6月 熊本⑤								
1	木	金	土	日	月	火	1	土	元日	火	水	木	金	1	金	土	日	月	火	水	1	日	月	火	水	木									
2	金	土	日	月	火	水	2	日	月	火	水	木	金	2	土	日	月	火	水	木	2	月	火	水	木	金									
3	土	日	月	火	水	木	3	月	火	水	木	金	土	3	日	月	火	水	木	土	3	火	水	木	金	土									
4	日	月	火	水	木	金	4	火	水	木	金	土	日	4	月	火	水	木	金	日	4	水	木	金	土	日									
5	月	火	水	木	金	土	5	水	木	金	土	日	月	5	火	水	木	金	土	月	5	木	金	土	日	月									
6	火	水	木	金	土	日	6	木	金	土	日	月	火	6	水	木	金	土	日	火	6	金	土	日	月	火									
7	水	木	金	土	日	月	7	金	土	日	月	火	水	7	木	金	土	日	月	水	7	土	日	月	火	水									
8	木	金	土	日	月	火	8	土	日	月	火	水	木	8	金	土	日	月	火	水	8	日	月	火	水	木									
9	金	土	日	月	火	水	9	日	月	火	水	木	金	9	土	日	月	火	水	木	9	月	火	水	木	金									
10	土	日	月	火	水	木	10	月	火	水	木	金	土	10	日	月	火	水	木	土	10	火	水	木	金	土									
11	日	月	火	水	木	金	11	火	水	木	金	土	日	11	月	火	水	木	金	日	11	水	木	金	土	日									
12	月	火	水	木	金	土	12	水	木	金	土	日	月	12	火	水	木	金	土	月	12	木	金	土	日	月									
13	火	水	木	金	土	日	13	木	金	土	日	月	火	13	水	木	金	土	日	火	13	金	土	日	月	火									
14	水	木	金	土	日	月	14	金	土	日	月	火	水	14	木	金	土	日	月	水	14	土	日	月	火	水									
15	木	金	土	日	月	火	15	土	日	月	火	水	木	15	金	土	日	月	火	水	15	日	月	火	水	木									
16	金	土	日	月	火	水	16	日	月	火	水	木	金	16	土	日	月	火	水	木	16	月	火	水	木	金									
17	土	日	月	火	水	木	17	月	火	水	木	金	土	17	日	月	火	水	木	土	17	火	水	木	金	土									
18	日	月	火	水	木	金	18	火	水	木	金	土	日	18	月	火	水	木	金	日	18	水	木	金	土	日									
19	月	火	水	木	金	土	19	水	木	金	土	日	月	19	火	水	木	金	土	月	19	木	金	土	日	月									
20	火	水	木	金	土	日	20	木	金	土	日	月	火	20	水	木	金	土	日	火	20	金	土	日	月	火									
21	水	木	金	土	日	月	21	金	土	日	月	火	水	21	木	金	土	日	月	水	21	土	日	月	火	水									
22	木	金	土	日	月	火	22	土	日	月	火	水	木	22	金	土	日	月	火	水	22	日	月	火	水	木									
23	金	土	日	月	火	水	23	日	月	火	水	木	金	23	土	日	月	火	水	木	23	月	火	水	木	金									
24	土	日	月	火	水	木	24	月	火	水	木	金	土	24	日	月	火	水	木	土	24	火	水	木	金	土									
25	日	月	火	水	木	金	25	火	水	木	金	土	日	25	月	火	水	木	金	日	25	水	木	金	土	日									
26	月	火	水	木	金	土	26	水	木	金	土	日	月	26	火	水	木	金	土	月	26	木	金	土	日	月									
27	火	水	木	金	土	日	27	木	金	土	日	月	火	27	水	木	金	土	日	火	27	金	土	日	月	火									
28	水	木	金	土	日	月	28	金	土	日	月	火	水	28	木	金	土	日	月	水	28	土	日	月	火	水									
29	木	金	土	日	月	火	29	土	日	月	火	水	木	29	金	土	日	月	火	水	29	日	月	火	水	木									
30	金	土	日	月	火	水	30	日	月	火	水	木	金	30	土	日	月	火	水	木	30	月	火	水	木	金									
31	土	日	月	火	水	木	31	月	火	水	木	金	土	31	日	月	火	水	木	土	31	火	水	木	金	土									

諮問委員会 会長ノミニー研修 米山夏季合宿 インタクト年 RYLA ローターアクト年次大会 ローター研究会 米山選考会 米山献送会

---

RI 第 2720 地区 2022 ～ 2023 年度  
会長エレクト研修セミナー（オンライン）

## 出席報告

期日：2022年3月12日（土）  
場所：熊本市「熊本城ホール」

所属 RC

---

氏名

---

上記会員は、会長エレクト研修セミナーへ出席いたしました

国際ロータリー第 2720 地区  
ガバナーエレクト 堀川貴史





